



令和7年8月29日
函館財務事務所

令和6年度管内地方公共団体に対する 財政融資資金の貸付状況について

- ◎令和6年度新規貸付額は **96.1億円（前年度比 5.2億円 減少）**
- ◎令和6年度末貸付残高は **1,189.7億円（前年度比 54.1億円 減少）**

（注）管内（渡島・檜山）18市町のほか、一部事務組合等に対する貸付けを含みます。

◇管内地方公共団体別の新規貸付額・貸付残高については函館財務事務所のホームページに掲載しております。
【 函館財務事務所ホームページ : <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/> 】

〔令和6年度の新規貸付について〕

- ・新規貸付額は96.1億円と、前年度に比べ5.2億円の減少（令和5年度101.3億円）
- ・過疎対策事業への貸付けが減少したため。

〔令和6年度末の貸付残高について〕

- ・貸付残高は1,189.7億円と、前年度に比べ54.1億円の減少（令和5年度1,243.8億円）
- ・過去の貸付けに係る回収額（150.1億円）が、新規貸付額（96.1億円）を上回ったため。

財政融資資金とは？

国債の一種である財投債の発行により国が金融市場から直接調達し、地方公共団体等が行う事業に活用される資金です。

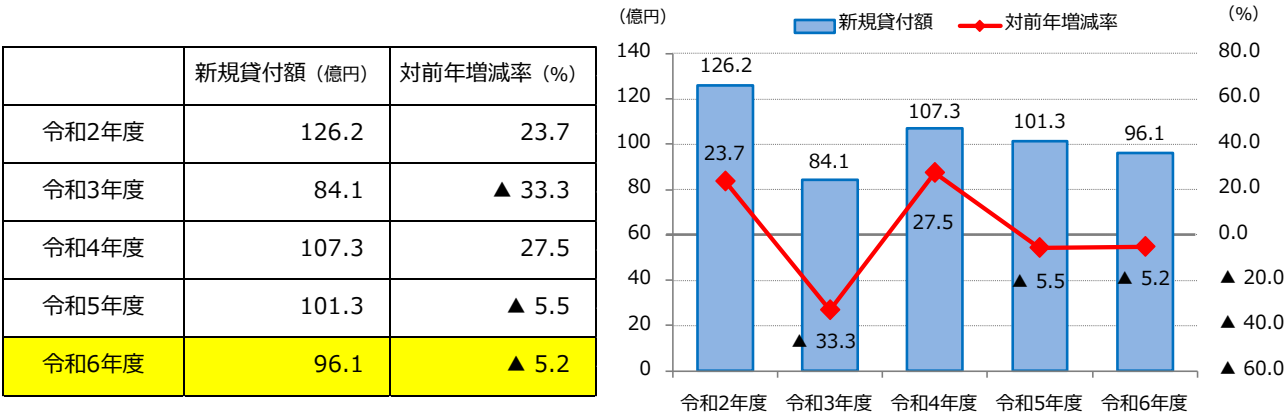
函館財務事務所では、管内地方公共団体が学校、病院、道路等の建設や、上・下水道等を整備するために必要な資金の貸付けを行い、地域の活性化に役立てていただいております。

【本件に関するお問い合わせ先】

函館財務事務所財務課
Tel（代表）0138-47-8445

1. 令和6年度の新規貸付について

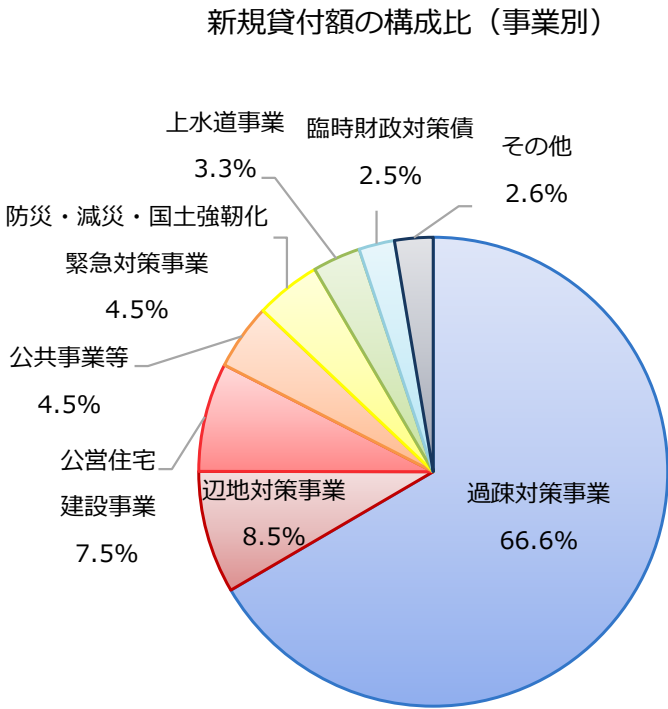
- 新規貸付額は**96.1億円**となり、前年度に比べ**5.2億円（5.2%）**減少しました。
- 過疎対策事業で6.0億円減少したことが主な要因です。



- 新規貸付額を事業別にみると、**過疎対策事業が63.9億円（構成比66.6%）**と大
宗を占め、次に**辺地対策事業が8.1億円（構成比8.5%）**となっています。
- 過疎対策事業債は、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき過
疎地域として指定された市町村（過疎団体）が、過疎地域持続的発展市町村計画に
基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債です。
- 過疎団体は、渡島・檜山管内18市町のうち16団体あり、病院・診療所や下水道、
教育に関する施設の整備のほか、移住・定住促進、子育て支援等の事業に対して、
過疎対策事業債を活用することができます。

事業区分	新規貸付額（億円）
過疎対策事業	63.9 [70.0]
辺地対策事業	8.1 [2.7]
公営住宅建設事業	7.2 [3.3]
公共事業等	4.4 [8.5]
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業	4.3 [2.3]
上水道事業	3.2 [2.9]
臨時財政対策債	2.4 [6.0]
その他	2.5 [5.7]
合計	96.1 [101.3]

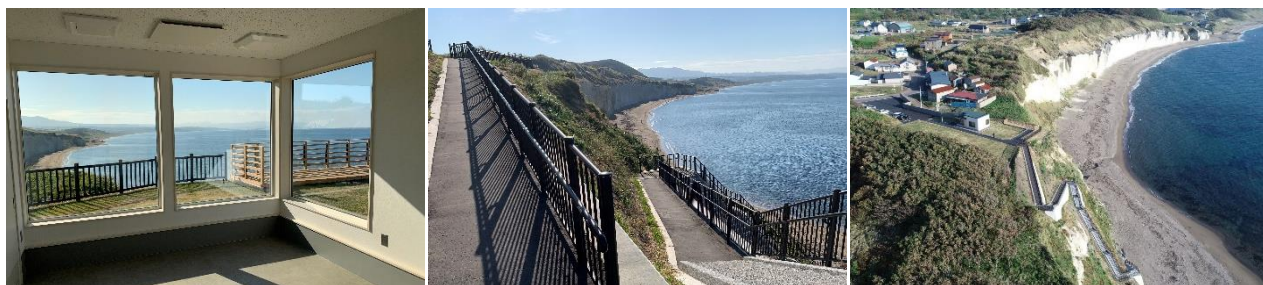
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、
合計の数値が合わない場合があります。
[]内の数字は昨年度の貸付額です。



令和6年度貸付事例（過疎対策事業）



利用環境の改善と防災機能の強化を図るため、老朽化した屋根や外壁の改修を実施



観光資源である滝瀬海岸（シラフラ）への観光客誘致のため、展望施設及び海岸までの傾斜路を整備



千代台公園陸上競技場
(写真提供：函館市)

日本陸上競技連盟による公認競技場として、継続して公認を受けるため、老朽設備の改修等を実施



吉岡温泉ゆとらぎ館
(写真提供：福島町)

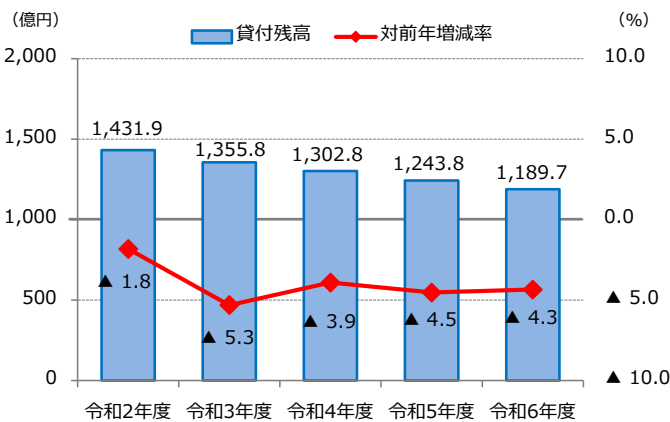


施設の老朽化や温泉湯量の減少を受け、適切な規模の施設となるよう移転新築工事を実施

2. 令和6年度末の貸付残高について

- 令和7年3月末日時点の貸付残高は**1,189.7億円**となり、前年度に比べ**54.1億円(4.3%)**減少しました。
- これは、過去の貸付に係る回収額(150.1億円)が、新規貸付額(96.1億円)を上回ったことによるもので、**貸付残高の減少は平成16年度から続いています。**

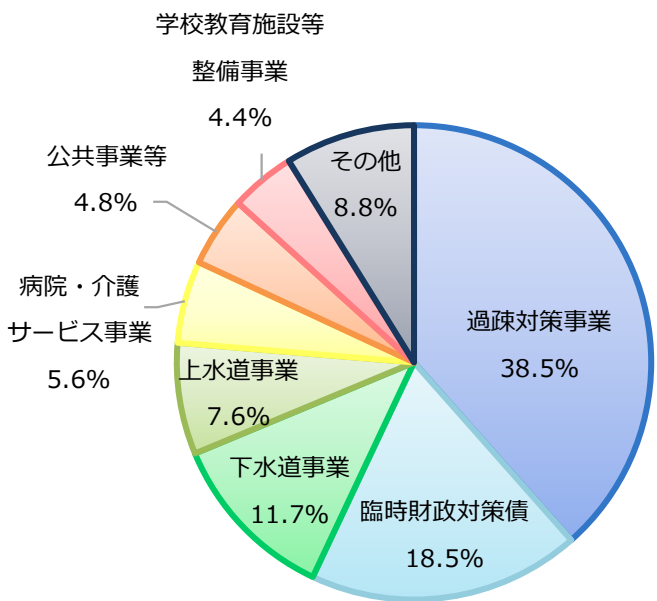
	貸付残高(億円)	対前年増減率(%)
令和2年度	1,431.9	▲ 1.8
令和3年度	1,355.8	▲ 5.3
令和4年度	1,302.8	▲ 3.9
令和5年度	1,243.8	▲ 4.5
令和6年度	1,189.7	▲ 4.3



- 貸付残高を事業別にみると、過疎対策事業が最も多く、以下、臨時財政対策債、償還期限が長い公営企業債(下水道事業、上水道事業、病院・介護サービス事業)と続きます。

事業区分	貸付残高(億円)
過疎対策事業	457.7 [438.9]
臨時財政対策債	220.7 [253.2]
下水道事業	139.3 [156.8]
上水道事業	90.3 [98.7]
病院・介護サービス事業	66.7 [80.2]
公共事業等	57.0 [58.6]
学校教育施設等整備事業	52.7 [59.6]
その他	105.2 [97.7]
合計	1,189.7 [1,243.8]

貸付残高の構成比(事業別)



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計の数値が合わない場合があります。
[]内の数字は昨年度末時点の貸付残高です。